

らくあん

NPO法人

茅ヶ崎ユニバーサルデザインスクエア
地域活動支援センター楽庵

〒253-0021

茅ヶ崎市浜竹3-4-64 石黒ビル2階

0467-86-5898

あけましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願いします！

高次脳機能障害支援機関ネットワーク連絡会

県内での高次脳NW連絡会 H26-

高次脳機能障害者を支援している事業所間のネットワーク作り・支援力向上



神奈川総合リハビリテーションセンターホームページより抜粋

年に2回の高次脳機能障害NW連絡会において、他の機関の新しい情報や支援の工夫などを教えて頂き参考にしております。

高次脳機能障害への支援を学ぶ

楽庵の通所者の8割は脳に損傷を負うことで知覚や思考、記憶力などの高次脳になんらかの障がいのある方たちです。去年はドラマなどでも高次脳機能障害という言葉が頻繁に使われ、一般の方々にも知られるようになってきました。しかし、外見から分かりにくく、本人も周囲も症状に気づきにくいいため理解するのにとても時間がかかりました。

「茅ヶ崎、高次脳機能障害」で検索していただくと、楽庵が出てきます。そのホームページを見て、見学者が来られます。職員としては高次脳機能障害について、勉強を続けなければと考えることがあります。事あるごとに、神奈川リハビリテーション病院の総合相談室を借り、日ごろの感謝をお伝えしたく思います。今後ともご指導ご協力のほどよろしくお願いいたします。

神奈川
リハビリテーション病院
総合相談室
室長 瀧澤学

楽庵との関わりは、今も通所させていたいただいている高次脳機能障害がある方への支援で初代近藤所長にお力添えいただいたことが始まりでした。

なかなか高次脳機能障害とともに生活していくことを受け入れられず、思い通りにならない理由を周囲の支援者に押し付けていた時期もありました。

しかし、近藤所長が根気強く陶芸等の作業や販売の支援を行い、ご自身の作品が売れたり評価されたりする中で自信をつけ、所長のことを「ボス」と呼ぶに至りました。

あれから二十弱が経過していますが、御本人は今でも安定した生活を継続されており、住み慣れた地域で生活を支えていくことの重要性、そこまでに長期間の関わりが必要であることを学ばせていただきました。

神奈川県の高次脳機能障害支援拠点機関である神奈川総合リハビリテ

ションセンターでは、このような住み慣れた地域での生活を支える機関を増やすために、高次脳機能障害がある方と家族が集える「当事者・家族会」を相模原市・大和市・藤沢市・県西圏域で実施したり、高次脳機能障害支援に積極的な取り組みを行っている機関を繋いだ「高次脳機能障害支援ネットワーク連絡会」を開催したりしています。

これらの端緒は、楽庵が集いの場・活動の場・参加の場として地域で有機的に機能している姿に希望を見出し、私自身が支援コーディネーターとして県内にこのような機関を増やしていきたいと切望したからです。

今でも、茅ヶ崎市内での高次脳機能障害がある方への支援をお願いする際には真っ先に名前が上がるのは楽庵です。

今後も、地域で生活する障害がある当事者とご家族をサポートいただけている機関として、連携させていただきたく、よろしくお願いたします。

長年お世話になっている瀧澤さんにご寄稿頂きました。感謝申し上げます。ご多忙の所ありがとうございます。

認知リハビリ

毎週木曜日と金曜日、隔週月曜日に高次脳機能障害のメンバーの小グループで学習会と認知リハビリを行っています。高次脳機能障害は、脳神経細胞が一部壊死してしまった結果起きる障害で、身体のみならず、知覚、記憶、注意や学習、判断力などに課題がおきます。

中途障害であり、自身の活動制限について気が付きにくく、障害は病前の性格や教育背景、家庭環境によって様々な臨床像を形成するため、家族や身近な人も本人へのサポートをするのが難しいです。

認知リハビリでは、少人数でお互いの生活場面を振り返り、それぞれの日常生活の工夫などを話し合うことで、自身の障害を知るための時間を持っています。

また言語の障害に関しては、言葉獲得のための課題や読み書きの学習をしたり、注意力や記憶に関するも自身の能力課題にあったプログラムを提供しています。

グループ内では復職、これからの人生の生きがい、生活の課題などを話合っています。行き詰ったときに、お互いにヘルプサインを出せるような仲間作りの場になることを願っています。



また、高次脳機能障害を知るうえで当事者の鈴木大介さんの著書は必読書であると考えており、皆で音読をさせて頂いております。



国際交流 エコクラフト&陶芸教室

アメリカ在住の方々が楽庵を訪れました。日本語が通じない子供たちに、身振り手振りで三品さんとボランテイアの田代さんが丁寧に陶芸とエコクラフトを指導してくださいました。数々の素晴らしい作品が生まれました。



楽庵で茶道教室

普段は理事長宅の茶室で行う教室を楽庵で開催。長嶺圭吾さんの指導で美味しくいただきました。



楽しい手芸教室

関根さんの指導で本格的な使えるものを作っています。写真は尾方面伯が作った巾着。



くっちゃぶる会

毎月2回土曜日、就労された方等が相談と愚痴をこぼしてストレス解消!の時間を設けております。パソコンや電気に詳しい職員の星野さんが楽庵の備品の調整をしながら仕事や職場の人間関係のアドバイスをしてくださいました。詳しい日にはホームページに記載してあります。



楽庵ホームページ
たまにはご覧ください。



就労4年目。苦勞も多いけど、よくがんばってる

平和を祈るクリスマス

年末恒例、片山恵美子さんのリードにより、音楽で心身を開放する時間を楽しみました。



異文化 コミュニケーションの実践

言葉を超えて

思いを知る

パングラデシユオリンピック水泳コーチのオニツクさん、シャゴルさんと湘南のスーパージェン・田口隆洋さんをお迎えしてパングラデシユやオリンピックについて話を聞きました。パングラデシユはイスラム教徒の方が多く断食中に夜、かえって大食いするという話などがとても面白かったです。言葉や文化が違っても面白いところのツボは同じで、一緒に笑ったり驚いたりして、楽しい時間になりました。



世界の言語から考える 多様化の時代

辻出悠斗さんから世界の言葉の成り立ちなどの話をして頂きました。教えてくださった「人生のあいうえお」が素敵なのでご紹介します。あ・愛がまずあり、い・命が生まれ、う・運に恵まれ、え・縁ができて、お・恩を返す。か・感謝していると神様が見えて、き・希望が生まれ、け・心が健康であれば、こ・貢献できる。実践したいです。



合理的配慮勉強会

令和6年4月より合理的配慮が義務化されました。そこで、合理的配慮促進条例を作る活動をされている松永徹さんに研修をお願いしました。

合理的配慮とは、障がいのある人たちが、直面する社会の中にある不自由さによって差別されないよう、事業者などが負担が重すぎない範囲で配慮することです。まず、配慮が欲しいと声を上げやすくして建設的対話をし、必要かつ合理的範囲で柔軟に社会的障壁の除去をおこなうことが必要ということです。

茅ヶ崎の地質と地盤

地盤品質判定士、測量士等、地域の有識者、高橋一紀さんに講演をお願いしました。

防災等の観点から、茅ヶ崎の地形を年代ごとに海面変動や堆積物などの画像を使って分かりやすく説明して頂きました。

地震や地殻変動は怖いですが、地球的な観点から考えると、とても興味深いお話でした。出かけた先で地層が出ている所を見つけれられるようになりました。



茅ヶ崎の歴史

堤にある茅ヶ崎市博物館学芸員の渡部敦寛さんをお招きし、興味深いお話をしていた頂きました。奈良時代の役所の遺跡や、駅近には古墳の遺跡もあり、そこから出た日本最古の妖怪画？の壺も発掘され、博物館に展示されているとのこと。ぜひとも見に行きたいです。



人と共に自分らしく生活する

コミュニケーションントレーナー、伊藤恵子さんのご指導でカードを使って潜在意識にアプローチし、気づきを深めるという講座を開催しました。

初参加の職員有子さんは理想の自分になる最初の一步は「寄り道すること」だったのを楽しく寄り道をして帰宅したそうです。



琉球古典民謡、離島民謡

音楽を聴いて歌って つながるこころ

いつも新しい音楽とお話を紹介してくださる小島亜矢さん。今回は貴重な三線の音色を聴かせてくださいました。うっとり。

絵は尾方面画伯。作品続々と製作中



脳と心に響く歌声サロン

唄の花咲翁、西信光さんの登場。

唄とギターは勿論素敵！小話もめちやくちや面白くて、勿体ないのメモしながら聞きました。



素敵な写真提供はみんなのアイドル、ボランティアの田代さん。いつもありがとう。

毎年恒例、曾我梅園の花見。初めて御殿場線で行きました。



ともしび号でGO

春は、マザー牧場に行ってきました。羊よりも、参加してくれた少年3名のかわいらしさにノックダウンされました。感謝。。



秋は小江戸・川越に行ってきました。小雨ながらも、美味しいものを食べて楽しみました。



神奈川中央交通の皆さま有難うございます

この人 星野 明さん

楽庵の非常勤職員を担当させて戴き、3年位になります。主に来所するのは土曜日が多いため、イベントの場合などでは皆様とお会いしていないですね。

【自己紹介】三重県生まれの東京育ちです。父親が公務員でしたので、長い間世田谷区に住んでいました。4年大学卒業後、修士課程で大阪に2年居住、その後就職して茅ヶ崎に住み始め、30五年経ちました。

【趣味の類】

昔から、工作が好きでした。壊れている物があると、どうせ捨てちゃうのだから、とことん分解して中を確かめてから捨てると言うことをしていました。時折は故障部品を見つけ、それを交換して復活させたりとかで、今でも楽しんでいきます。

【楽庵との関わりきつかけ】平成時代の初め頃に、電話やFAX以外の通信手段としてパソコン通信が世間で広まったのを、自身と同年代の方はご

存じかと思えます。神奈川県が運営に
関わる通信ネット内で「茅ヶ崎市民ネットを考える会議」という集りが出来ていたの、面白そうなので参加しました。活動の中で、市との交渉はなかなか上手く行かず、最終的には取り入れて貰えずの結果となりました。集まったメンバーの中に、初代楽庵の施設長／近藤昭弘さん（ニツクネーム…あきさん）が居られ、現理事長の近藤裕美さん（ニツクネーム…かすみさん）が居られ、また惜しくも亡くなられた渡部次男さん（ニツクネーム…つぎおさん）が居られるなどの顔ぶれでした。メンバーがこれだけ集まったのだから、ネットを利用して楽しもうかということになり、名称をくらぶ茅ヶ崎として改めて動き出しました。自分たちでパソコン通信ネットも開通させました。丁度、時代もビジネス

パソコンから家庭用までが出回り始めた頃で、多くの方が買い換えられて中古品や廃品も数多く出回りました。通信に関する技術を皆で勉強しながら、また障害者の訓練向けに中古パソコンを整備して使って戴いたり等、色んな事を勉強しながら楽しんだのが良い思い出です。

年賀状のやりとりはずっと近藤さんご夫婦と続いていて、ホントに繋がりはそれだけでした。次男さんの代役を自分が務めさせて戴く運びとなりました。

【さてこれからも】影ながら、皆様のお役に立てるよう、楽庵の運営フォローを務めていきたいと思えます。宜しくお願ひします。



くっちゃぶる会（月2回土曜）にパソコンや電気の手入れをして下さっています。復職した方達や職員のパソコン業務の頼もしい相談相手です。

編集後記

おかげさまで、昨年も無事に過ごすことができました。美味しく食べ、気持ちよく眠り、笑える事が多くある年になりました。すうにと願っています。